

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		し尿処理施設設備改修事業				
事業の概要	<p>生活環境の改善や河川の水質保全のため、下水道整備による水洗化を推進しているが、その一方で計画区域外や未供用区域のし尿処理、浄化槽や下水道処理施設から排出される汚泥処理をする必要があり、能力低下した設備等を計画的に改修・更新することで処理能力の改善を図った。</p> <p>網野衛生センター設備改修 取水ポンプ点検整備(深井戸ポンプ、揚水管、水中ケーブル等交換) 焼却施設点検整備(シーケンサー、循環ファン本体交換) 竹野川衛生センター設備改修 ・焼却炉整備 ・熱交換器更新 ・搬送機器類整備 等 久美浜衛生センター設備改修 ・前処理機器緊急整備</p>					
	事業期間	平成17年度～21年度				
	総事業費	258,000千円	本年度事業費	106,395千円	交付金交付額	14,000千円
事業評価	事業の必要性	本市には3つのし尿処理施設があり、網野衛生センター(昭和62年3月竣工 36kl/日処理能力)、竹野川衛生センター(平成11年3月竣工 70kl/日処理能力)、久美浜衛生センター(平成元年3月竣工 25kl/日処理能力)ともに、施設・設備機器の老朽化が進んでいるため、計画的に改修・更新し、適正な処理と稼働に努める必要があった。特に久美浜衛生センターは、故障するとし尿処理が完全にストップするため、緊急な整備が必要であった。				
	事業の有効性	施設設備を整備することにより処理能力が向上し、環境基準に適合したし尿処理施設が維持でき、快適な生活環境が維持できた。				
	事業の効率性	設備・機器の改修、更新を行うことで効率よく処理でき、ランニングコストに配慮した長期稼働が可能となった。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果 新規処理施設の整備でなく、施設改修等による適正稼働を継続することで投資的経費やランニングコストを抑制し、効率的な財政運営が図れた。						
6 その他の成果 下水道接続等によりし尿処理量の減が見込まれるものの、個人設置浄化槽や公共下水から排出される汚泥は、今後更に増加される見通しであるため、効率的な稼働と施設の延伸に努める。						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		し尿収集車整備事業			
事業の概要		<p>老朽化した網野衛生センターのし尿収集車を購入した。使用しているし尿収集車は、購入後12年経過した2t車で老朽化が進んでいるため、新たに3t車を購入した。</p> <p>網野衛生センターバキューム車(3t) 1台</p>			
		事業期間	平成21年度		
		総事業費	9,972千円	本年度事業費	9,972千円
事業評価	事業の必要性	車両の老朽化が進んでいるため、計画的な更新等が必要。			
	事業の有効性	し尿収集車を計画的に整備し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図った。			
	事業の効率性	車両更新により、収集能力が向上し安定したし尿収集運搬業務が実施できた。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
		4 広域的波及成果			
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					
<p>網野衛生センターで使用していたし尿収集車は、購入後12年が経過した2t車で老朽化が進み、更新が必要となっていた。今回購入した車両は、3t車で収集能力をアップしたため、効率のよい収集業務が行えるようになった。</p>					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		最終処分場整備事業				
事業の概要	<p>最終処分場では不燃ごみの処理を行っており、網野最終処分場は、主に網野・丹後・弥栄地域、久美浜最終処分場は、主に久美浜地域から搬入された廃棄物の中から再資源化可能な廃棄物(金属類や廃家電製品)の分別をして、リサイクル処理を行っている。</p> <p>近年、施設内機器に異常が発生したり、水質検査の結果により京都府から原因究明の調査指導を受けるなど、環境基準に適合した施設の維持管理を行っていくために、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施した。</p> <p>網野最終処分場整備 ・浸出水処理施設整備工事 ・計測機器総合点検、オゾン発生装置点検整備、第2調整槽B号攪拌機整備、オゾン処理槽循環ポンプ点検整備、第3中和槽攪拌機整備、活性炭吸着塔活性炭交換整備 久美浜最終処分場 ・洪水調整池浚渫整備 ・地下水観測井戸設置整備</p>					
	事業期間	平成20年度～24年度				
	総事業費	79,000千円	本年度事業費	17,062千円	交付金交付額	4,200千円
事業評価	事業の必要性	<p>網野最終処分場では、平成19年5月に水処理機器の異常等により放流基準値がオーバーし、緊急処置的な点検整備は行ったが、再発防止に向けた機械設備、電気・計装設備等の総合点検及び改修工事を行う必要がある。また、久美浜最終処分場では、水質検査の結果により、京都府から原因究明調査の指導を受け、調整池の内部に堆積した泥等を浚渫除去し、地下水観測井戸の設置場所の変更の指導を受けている。</p>				
	事業の有効性	<p>処理施設の点検・改修を行い、地下水観測井戸を新たな箇所を設置することで、環境基準に適合した施設を維持し、周辺環境の汚染防止を図ることができる。</p>				
	事業の効率性	<p>計画的に施設の改修整備を行うことにより、施設設備の能力低下を防ぎ、施設の継続稼動を維持した。</p>				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
	<p>現施設の改修によって適正稼動を維持することで、投資的経費やランニングコストを抑制できた。</p>					
	6 その他の成果					
	<p>機器類の点検・整備に努め、正確な測定を維持することで、安心安全な住民生活、周辺環境を保った。</p>					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		地域水洗化推進先導事業			
事業の概要		<p>公共用水域の水質保全、快適な生活環境の実現や美しい自然環境を継承し、併せて市域の均衡ある発展に資するため、下水道整備による水洗化に取り組み、整備完了区域から順次供用を開始している。環境に配慮した地域水洗化を早期に実現するため、供用開始された区域内にある公共施設等の下水道接続を先導的に実施し、各家庭における水洗化意識の高揚と下水道への速やかな接続を促進する。</p> <p>地域集会施設下水道接続事業補助金 土居区公民館(久美浜町土居区 平成21年5月末人口: 205人、76世帯) 仲町区公民館(久美浜町仲町区 平成21年5月末人口: 118人、41世帯) 西本町会館(久美浜町西本町区 平成21年5月末人口: 168人、65世帯) 栄町公民館(久美浜町栄町区 平成21年5月末人口: 295人、97世帯) 十楽公民館(久美浜町十楽区 平成21年5月末人口: 323人、125世帯) 新町会館(久美浜町新町区 平成21年5月末人口: 307人、107世帯)</p>			
		事業期間	平成17年度～21年度		
		総事業費	103,000千円	本年度事業費	5,387千円
事業評価	事業の必要性	生活環境や自然環境を快適に保つため、下水道供用開始が可能となった区域の公共施設等の下水道接続を進め、その利便性・快適性を周知し、市が取組んでいる下水道整備・加入を促進する必要がある。			
	事業の有効性	各世代が利用する公共施設を先導的に接続することで、水洗化の利便と快適性を広く周知するとともに、下水道施設の費用対効果を高めることができる。			
	事業の効率性	環境に配慮した地域水洗化を早期に実現するために、公共施設の下水道接続等を積極的に実施し、水洗化率の向上と下水道事業特別会計の効率的な財政運営を図った。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 地域住民に水洗化の快適さを広め、環境に対する下水道の役割を強くアピールし、地域の環境について考える機会を与えた。			
		3 リーディング・モデル成果			
		4 広域的波及成果			
5 行財政改革に資する成果 供用開始区域の公共施設に、速やかに下水道接続等を実施することで、公営企業としての財政の健全化を図った。					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		循環型農業推進事業			
事業の概要		<p>バイオガス施設である京丹後市エコエネルギーセンターから発生する有機肥料を市内農家等で利用することで、地域農業の活性化を図るとともに、これまで廃棄物として焼却処理していた生ごみを、センターに受け入れ資源として利用することで、ごみの減量化を図り、循環型農業を推進するためセンターの設備機器整備を行った。</p> <p>京丹後市エコエネルギーセンター設備改修 原水槽攪拌機改修、中央監視設備監視パソコン改修、排水処理施設放流ポンプ改修、排水処理施設システム改修、消化液循環駆動部改修、排水処理施設第二脱槽攪拌機改修、排水処理メインブロウ改修、ガス供給ブロウ改修、ガスエンジン発電装置改修</p>			
	事業期間	平成21年度～25年度			
	総事業費	100,000千円	本年度事業費	19,803千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	エコエネルギーセンターは、生ごみ再資源化や環境保全型農業の拠点施設であり、機械機器類を整備し適正な稼働を確保することで循環型農業に資するものである。また、新たな環境学習の施設としても活用されており、「循環環境都市」の実現に向けた中核施設として不可欠な施設である。			
	事業の有効性	施設の設備機器を整備し、維持管理することで、再資源化によるごみの減量化、液肥利用による地域農業の振興、新生ごみから資源化されるガス・電気等のエネルギーの利用などが進められ、循環環境都市の中核施設として活用できた。			
	事業の効率性	NEDO技術開発機構の委託事業として整備されたバイオガス施設を活用しており、住民の環境意識の高まりに対応し環境学習の場としても活用されている。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		ごみの減量化、再資源化、循環型農業等が実証的に学べる施設であり、市民の環境意識を高めることに貢献するものである。			
3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
事業がさらに拡大することで、生ごみの減量化が進み、ごみ処理のコスト削減が期待される。					
6 その他の成果					
液肥散布車も整備され、農業での液肥利用が増加すると見込まれる。それに伴い、生ごみ残渣の処理コストが削減されるため、メタンガスから発生した電力の有効利用が図られる。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。